

# 図画工作科研究実践授業

松川町立松川北小学校

下伊那大会研究テーマ

思いがつながる広がる 私の造形ネットワーク ～自分らしさを楽しむ授業へ～

図画工作科研究テーマ

自分なりの意味や価値を探究し、様々な表現方法を楽しむ子ども

日 時	令和2年11月13日(金) 第3校時(10:55～11:40)
指 導 者	長野県総合教育センター 専門主事 千原 厚 先生
題 材 名	「ひもひもワールド」(造形遊び)
授業学級	3学年 男子9名 女子11名 計20名
授 業 者	稲吉 匠 教諭
授業会場	会議室

## I 題材設定の理由

本校では、学校教育目標に「学び合い、認め合い、ひとりひとりがたくましく、みんなが伸びる松川北小学校」を掲げ、「関心を持って授業に取り組み、主体的に学ぶ力(知)」・「自分の良さを知り、友だちの立場に立って考えられる心(徳)」・「生活習慣を整え、体力向上をはかりながら、地域の中で生きる自覚(心体)」の3つを大切に考えている。

学校教育目標を受け、ペア学習やグループ学習などの学び合いも大切にし、より深い学びから確かな学力を身につけることができるよう研究を進めてきている。

子ども達は、図画工作の授業が好きであり、楽しみながら夢中で取り組む姿が見られる。このように、やりたいという気持ちやこんな作品にしたいという願いを持っている子ども達が、素材に主体的に働きかけ、作品や対象との対話・自己との対話・友との対話を進めながら、「こんなふう考えた」「こうしてみたらどうかなあ」などと、様々な表現を試したり見い出したりしながらより自分らしい表現ができる力を育てていきたいと考えている。

今回は、ひもを材料にして自分たちの活動によって身近な場所の見え方や感じ方が変わること気づき、図画工作の新たな表現方法を楽しんでほしいと願い、本題材を設定した。

## II 研究テーマにかかわって

### 1 図画工作科における「自分なりの意味や価値」とは

- (1) 子どもが感性や想像力を働かせ、対象を形や色などの造形的な視点でとらえ、自分のイメージを持つこと。
- (2) 自分と異なる見方や感じ方をする他者と関わる中で、自分の見方や感じ方を広げながら、作品を作り出すこと。

### 2 様々な表現方法を楽しむことができる造形活動とは

- (1) 材料や場所などに進んで働きかけ、その特徴をもとに表し方を見つけたり、新しいことを試すなどして、その過程の楽しさを味わう。

- (2) 素材の特徴を生かし、美しさやおもしろさ、調和的な関係などを発想したり考えたりして、体全体の感覚を働かせる。
- (3) 思いを膨らませ、材料を並べる、組み合わせる、環境を造形的に構成するなど、体験を深める。
- (4) 低学年は遊ぶ過程を大切に、中学年は試す過程、高学年は生かす過程を大切にする。
- (5) 本題材で扱う「ひも」の、教材としての価値は次のように考える。
  - ① 身近な素材でやわらかく扱いやすい。
  - ② 結んだり巻いたりでき、いろいろな形を作り出すことができる。さらに、編むことによって、線から面へと生まれ変わることができる。
  - ③ 素材や色や長さ、つなぎ方などを工夫し、飾ることによって教室の雰囲気の変化を楽しむことができる。
  - ④ 友だちの活動を見ながら、「さらに～したい」と刺激を受け、活動が広がっていくことができる。

### Ⅲ 学習指導案

#### 1 題材名 「ひもひもワールド」(造形遊び)

#### 2 目標

ひもを結んだり、巻いたりしながら、いろいろな形を発想して造形活動を楽しむことができる。

#### 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもに体全体で関わることを通して、様々なつなぎ方や触れたときの感じ方などに気づいている。</li> <li>・つなぎ方や色の合わせ方を工夫したひもで、自分があらわしたいものをつくっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つなぎ方や色の合わせ方を工夫したひもを、何かに見立てたり、組み合わせ方を工夫したりしている。(A表現)</li> <li>・つないでできる形の良さやおもしろさ、友だちの表現のおもしろさを感じ取っている。(B鑑賞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもの感触を楽しみ、自ら材料に働きかけて、楽しく造形活動をしようとしている。</li> </ul>

#### 4 展開の概要

時間	○学習内容 ・指導	評価の観点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動の概要を知り、見通しを持つ。</li> <li>・様々な色のひもをつないで、教室を変身させることを提案する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひもを結んだり巻いたりしてみる活動を通して、結んだり巻いたりすることで、形や長さなどが変わること気づける。</li> </ul>

2 本時	○ひものつなぎ方や配色などを工夫して、ひもをつないでいく活動を楽しむ。 ・児童の活動を見て回り、声をかける。	・ひものつなぎ方や配色などを工夫して、ひもをつないでいく活動に、進んで取り組もうとしている。
3	○互いの作品を見合い、自分や友だちの作品のよさに気づく。つないだひもによって、場所の様子が変化したおもしろさを味わう。 ・ひものつなぎ方や色の組み合わせなどに注目しながら見るように声がけをする。	・自分のイメージを持ちながら、ひもを結んだり巻いたりして変化した場所のおもしろさについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。

## 5 本時案

### (1) 主眼

ひもをつなぎ合わせる練習をし、空間をどう変化させるかイメージを持った子どもが、教室内でひもを結んだり巻いたりする活動を通して、自分たちの活動によって身近な場所の見え方や感じ方が変わること気づき、活動を楽しむことができる。

### (2) 指導事項

#### A表現(2)ア

造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分慣れるとともに、ひもを結んだり、巻いたりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。

### (3) 本時の位置 3時間扱いの第2時

前時： ひもを結んだり巻いたりして、ひもをつなぎ合わせる練習をした。

次時： 互いの作品を見合い、場所の様子の変化を感じる。

### (4) 指導上の留意点

・ゴミ袋を用意しておき、ひもの切りくずはその都度捨てるように促す。

### (5) 準備品

・ひも(毛糸・スズランテープ) ・はさみ

### (6) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	○主な発問・指導助言 評価	時間
導入	1 前時の活動をふり返し、本時の課題を確認する。	・どの色のひもを使おうかな。 ・たくさんつないでカラフルな感じにしたいな。	・ひもをつなぐ練習を想起し、どんなことができそうかイメージする。 ・教師が実際にひもをつないでみせる。	8
学習課題：つなぎ方や色の組み合わせを工夫して、ひもをつないでみよう。				

	2 活動の約束の確認をする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみは床に置かず、必ず刃を閉じて机の上に置くように指導する。</li> <li>・使い終わったひもは、所定の場所に戻すように指導する。</li> </ul>	
展 開	3 自分の思いに合わせて、ひもをつないでいく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くもの巣みたいになったよ。</li> <li>・まとめて結ぶと虹みたいだよ。</li> <li>・ジグザグの形につないでみたよ。</li> <li>・スズランテープを細く裂いて結んでみたよ。</li> <li>・まとめて結んだら花火みたいになったよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな色やつなぎ方で、ひもをつないでいこう。</li> <li>・配色やつなぎ方を工夫している児童を見つけ、称赞の声をかけたり、他の児童に紹介したりする。</li> <li>・活動が停滞している児童がいたら、その児童の思いを丁寧に聞きながら、他の児童の工夫を紹介したり、一緒につなぎ方を考えたりする。</li> <li>・活動の途中に、部屋の出入り口やひもの下など、活動中には見ない視点から見てみる時間を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教室内でひもを結んだり巻いたりする活動によって、身近な場所の見え方や感じ方が変わることに気づき、活動を楽しむことができたか。</p> </div>	30
終 末	4 本時をふり返り、感想を持つ。  5 次時の活動の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな色を使ってやってみたよ。</li> <li>・ひもを机の脚に結んでみたよ。</li> <li>・他の人は、どんな工夫をしたのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が工夫したことや、もっとこうしたかったことなどを発表しよう。</li> <li>○次の時間は、皆の作品を見合って、友だちの工夫の良さを見つけよう。</li> </ul>	7

(7) 見ていただきたい点

- ① 本題材は、子ども達が素材に主体的に働きかけ、浸り込めるものであったか。
- ② ひもを、結んだり巻いたりしてつなぎ合わせていく活動の中に、対話（作品や対象と・自己と・友と）が見られたか。